

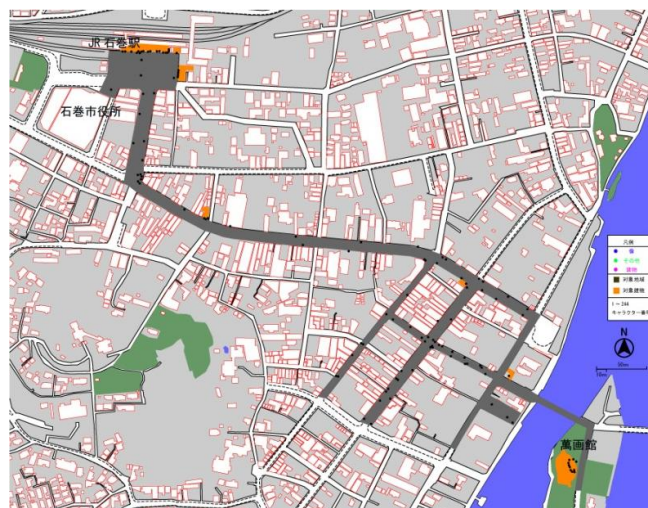
# キャラクターを活用したまちなみに関する研究 ～水木しげるロードと石巻マンガロードとの比較～

関西大学大学院 理工学研究科 ソーシャルデザイン専攻  
 関西大学大学院 理工学研究科 ソーシャルデザイン専攻  
 関西大学 環境都市工学部 建築学科 准教授・博士 (工)

山田 美紀  
 河原 滉大  
 亀谷 義浩

## 1 研究背景と目的

まちづくりのひとつの方法として、アニメや漫画の作者のゆかりのあるまちで本人の協力のもと、作中に登場するキャラクターを取り入れたパネルや像などのモニュメントを町中に配置し、それ自体を観光資源として街並みを形成する方法がある。本研究では、すでにキャラクターのあるまちとして確立されている水木しげるロードと、漫画の町として知られる石巻マンガロードを対象に、まちにあるキャラクターの利用法の違いにより、まちなみに与える影響について比較し、それぞれの特徴を明らかにする。



## 2 研究方法

### 2-1 調査地域及び対象キャラクター

本研究では、鳥取県境港市の JR 境港駅から東にのびる約 800mの水木しげるロード(図-1)と、宮城県石巻市の JR 石巻駅～石ノ森萬画館の約 1kmの石巻マンガロード(図-2)に設置されているキャラクターについて現地調査をする。



図-2 石巻マンガロード周辺エリアと対象キャラクター

### 2-2 調査項目

調査項目は大きく4つに分け、「対象設置物の概要」、「対象キャラクターの概要」、「対象キャラクターと対象設置物の関係」、「対象キャラクターと街の関係」とし、表-1に示す。なお、それぞれに細項目をもうけている。これらの調査で得た結果について、水木しげるロード(全 451点、図-1 参照)と石巻マンガロード(全 244点、図-2 参照)とを比較する。ただし、「対象設置物」とはキャラクターが設置されている物のことである。

## 3 対象設置物と対象キャラクターの概要

### 3-1 キャラクターの種類とその数

キャラクターの種類とその数を図-3に示す。水木しげるロードでは、全 451点 143種類のキャラクターが設置されており、鬼太郎や目玉おやじなどメインのキャラ



図-1 水木しげるロード周辺エリアと対象キャラクター

表-1 調査項目

対象設置物の概要	調査日、対象キャラクター、対象以外のキャラクター、キャラクターの総数、対象設置物の種類、対象設置物の階数、対象設置物の構造、対象設置物の大きさ、対象設置物の移動の可否、対象設置物の前面道路、対象キャラクターの周辺
対象キャラクターの概要	対象キャラクターの名前、対象キャラクターの大きさ、全長(対象キャラクターと対象設置物の全長)、対象キャラクターの素材、製作元(民間/公共)、対象キャラクターの着色の有無、対象キャラクターの状態(良い/やや悪い/悪い)、対象キャラクターの解説、備考
対象キャラクターと対象設置物の関係	対象キャラクターの設置階数、対象キャラクターの設置位置、対象キャラクターの設置方法、備考
対象キャラクターと街の関係	対象キャラクターの設置場所(歩道/車道/建物/広場/交差点)、歩道から見えるか否か(見える/見えにくい/見えない)、反対の歩道から見えるか(見える/見えにくい/見えない)、対象キャラクターの方向(道に対して向いている方向)、建物から対象キャラクターとの距離、建物から歩道の距離、周囲のキャラクター数(建物/建物以外/合計)、備考

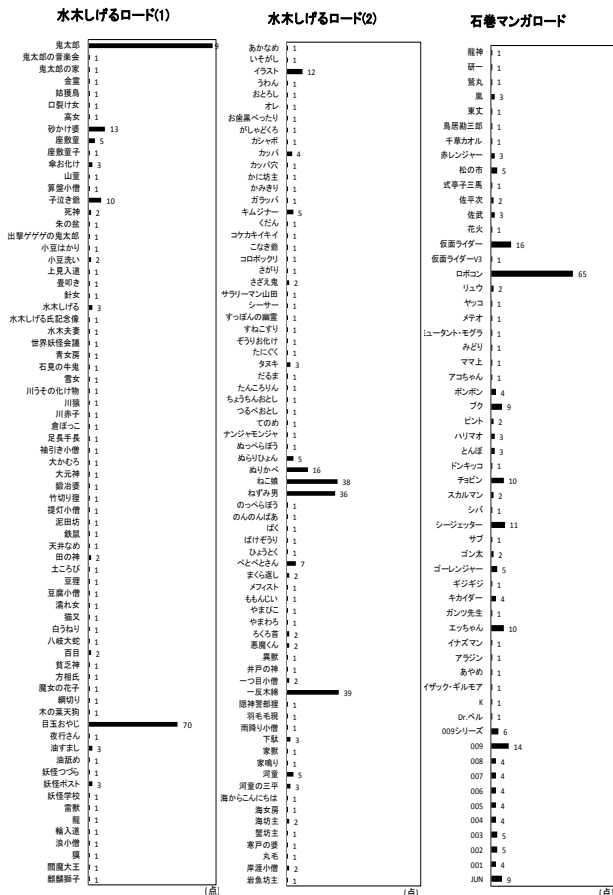


図-3 キャラクターの種類とその数

ターが多い。石巻マンガロードでは、全244点57種類のキャラクターが設置されており、ロボコンなどの特定のキャラクターが多く設置されている。

3-2 対象設置物の種類とそこにあるキャラクター数

水木しげるロードの対象設置物の種類(32種類)とそこにあるキャラクター数(全451点)を図4に、石巻マンガロードのそれら(19種類、全244点)を図5に示す。

水木しげるロードの中核である、妖怪のブロンズ像が設置されている「台」の数が最も多く、138点となった。街灯、マンホール、ベンチは同じ規格のものが多く生産されたために他のものに比べ数が多くなっている。

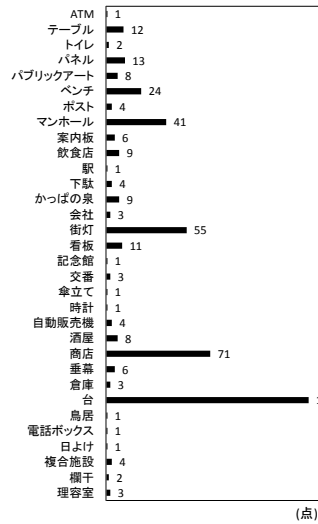


図-4 水木しげるロードの対象設置物の種類とそこにあるキャラクター数

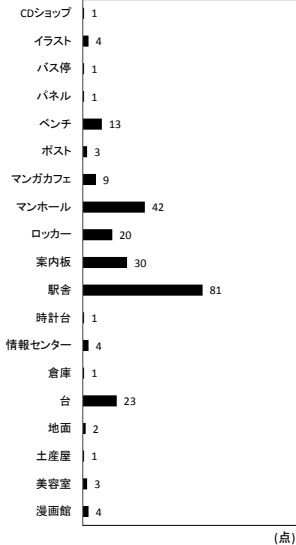


図-5 石巻マンガロードの対象設置物の種類とそこにあるキャラクター数



また、商店といったまち中の建物に多く見られる。石巻マンガロードは「駅舎」での数が最も多く、駅前通りでは多くのキャラクターが確認できる。次いで、マンホールに多く設置されており、両都市ともマンホールには多く使われている。これは、規格が決まっているのであれば大量生産が可能になるからであると考えられる。

4 対象キャラクターと対象設置物の関係

4-1 キャラクターの像(立体キャラクター)の対象設置物に対する大きさの割合

水木しげるロードのキャラクターの像の対象設置物に対する大きさの割合(キャラクターの垂直投影面積÷対象設置物の垂直投影面積×100)と、石巻マンガロードのキャラクターの像の対象設置物に対する大きさの割合を図6に示す。また水木しげるロード、石巻マンガロード



それぞれにおける像を図7に示す。

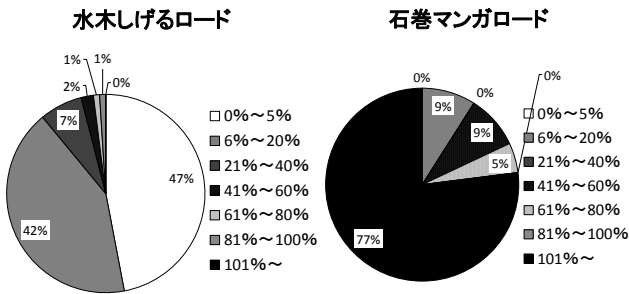


図-6 キャラクターの対象設置物に対する大きさの割合



図-7 水木しげるロードのキャラクターの像(左)と石巻マンガロードのキャラクターの像(右)

石巻マンガロードのキャラクターの像(24点)は水木しげるロードのキャラクターの像(149点)と比較して、対象設置物に対してキャラクターの像が大きくなっている割合が高い。したがって、石巻マンガロードでは、キャラクターがまちなみの中で象徴されて見えるが、水木しげるロードでは、キャラクターがまちなみにとけ込んでいるように見える(図7)。

#### 4-2 キャラクターの状態

キャラクターの状態を図8に示す。ただし、全体的にきれいなものを「良い」、欠損や色あせが半分以下のものを「やや悪い」、欠損や色あせが半分以上のものを「悪い」と定義する。

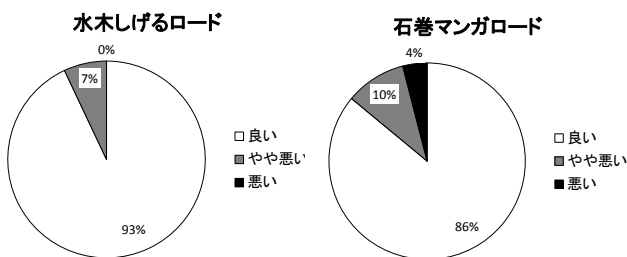


図-8 キャラクターの状態

石巻マンガロードは水木しげるロードと比較して、状態の悪いものが多いが、これは、石巻が津波の被害を受け、復興の途中を呈している。

#### 4-3 キャラクターの着色

キャラクターの着色の有無を図9に示す。

石巻マンガロードは水木しげるロードに対してキャラ

クターの着色が多い。また、着色が無いものに関しても色鮮やかなフィルム素材が用いられるなどして、石巻マンガロードはキャラクターのある場所はカラフルになっていて、まちなみがにぎやかに見える。水木しげるロードは着色が少ない分、まちなみが落ち着いて見える。

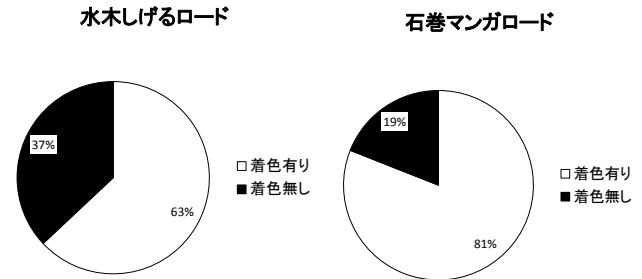


図-9 キャラクターの着色の有無

#### 4-4 キャラクターの像の設置位置

キャラクターの像の設置位置を図10に示す。

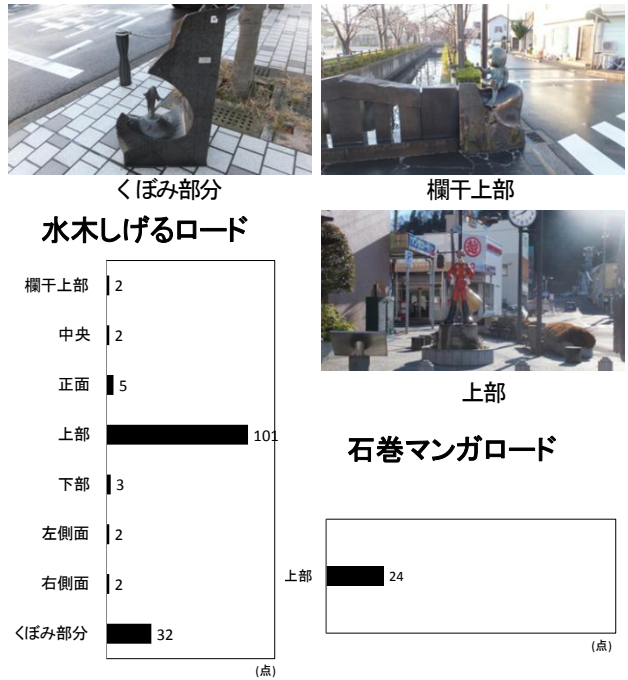


図-10 キャラクターの像の設置位置

石巻マンガロードは上部のみである。そのことによって、キャラクターは、遠くからでも見ることができる。水木しげるロードも上部に設置されている数が多いが、石巻マンガロードに比べて、各所に設置されている。そのため、視線が動き、まちなみの中で変化をもたらしている。

#### 5 対象キャラクターと街の関係

キャラクターと周囲のキャラクター数を図11に示す。

水木しげるロードは20点以上周囲にキャラクターが設置されていることはない。また、キャラクターが自然な間隔で均一に配置されていて、一つ一つの個性が確認

できる(図1参照)。一方、石巻マンガロードはキャラクターが周囲に20点以上配置されているキャラクターが約半数ある。また、キャラクターは各エリアに集中的に配置されており、それぞれのキャラクターによる相乗効果をもたらしている(図2参照)。

・池田 拓生 (2012)「地域振興におけるキャラクターの運用に関する一考察：鳥取県米子市・境港市におけるキャラクターの活用」

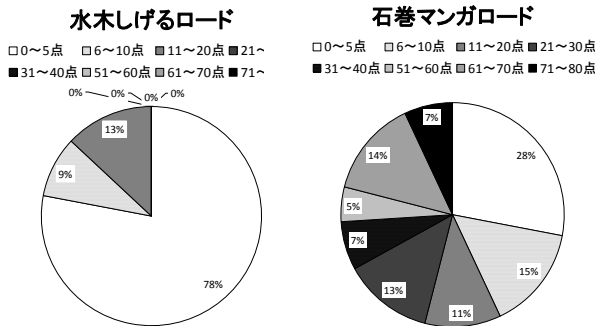


図-11 キャラクターの周囲のキャラクター数

## 6 まとめ

(1) 水木しげるロードは、たくさんのキャラクターがみち全体で見ることができ、石巻マンガロードでは、ロボコンのような特定のキャラクターが多く使われており、駅前及び駅前通りを中心にみることができる。

(2) 水木しげるロードでは、キャラクターが対象設置物に対して小さく、様々な場所に設置されているので、まちなみにとけ込み、まちなみの中で変化してみえる。また、着色が少ないので落ち着いた見える。石巻マンガロードでは、対象設置物に対してキャラクターが大きく、上部に設置されているので、遠くからでも象徴的に見え、着色が多いのでまちなみがカラフルに見える。

(3) キャラクターの連続配置や集中配置によって、まちなみでのキャラクターの現れ方が変化する。水木しげるロードは、キャラクターを連続配置することによって非現実世界の雰囲気づくりをしており、動的視点でキャラクターのあるまちなみを楽しむことができる。石巻マンガロードは、キャラクターの集中配置によりキャラクターが高密度に集中する場所ができ、そこでは、テーマパークのような雰囲気があり、静的視点でキャラクターのあるまちなみを楽しむことができる。

## 謝辞

調査、資料収集、研究発表に協力していただいた坂之上将英様、和田達也様、河原滉大様に感謝の意を表します。

## 参考文献

- ・澤田 康路 (2007)「境港市における観光設計のプロセスと今後の課題—水木しげるロード周辺の事例を中心として—」、とっとり地域連携・総合研究センター調査研究事業
- ・澤田 康路 (2009)「境港市の『水木しげるロード』整備と商店街の変容に関する考察」、国際交通安全学会誌 Vol. 34 No. 1
- ・『石ノ森萬画館』(1997 メディアファクトリー 発行)
- ・『石ノ森萬画館 ISHINOMORI MANGATTAN MUSEUM』(2002)、石巻市 出版
- ・黒目 友則 (2007)『妖怪になりそこなった男』、株式会社やのまん
- ・境港市観光協会 (2013)『水木しげるロードの妖怪たち VI』